

# 特集

初の試み  
生徒による  
特集作成

## 職業体験での 広報紙作成

ふるさと教育・学社融合推進事業の一環として「職業体験学習」が10月11日(水)、12日(木)の2日間で実施されました。

この事業は、実際に働く人と接することで、仕事に対する考え方や姿勢を肌で感じ、体験を通して働くことの意義などを考えるきっかけづくりを目的としています。

安平町役場の職業体験には、早来学園8年生の小泉涉くんが参加、総務課情報グループの一員となり、形として成果が残る広報紙の作成を体験していただきました。



広報紙作成にあたっては、特集ページ「私が取材！安平町役場の職員に密着」、編集者コラムの作成を行いました。

2日間という短い期間での広報紙作成ということもあり、大まかな特集案はこちらから提案したものの、誰に密着するか、どのような内容、レイアウトにするかなど、細部まで生徒自身がこだわり抜いた特集となっています。

インタビュアーについても、もちろん生徒自身が行いましたが、真剣にしっかりとメモを取る姿は、立派な広報担当者でした。



特別編集者 小泉 涉くん



写真撮影の腕もメキメキと上がって、インタビュー写真の撮影では「誰かと話している様子で撮影したい」と、自分の意志で構図を決める場面も。

広報紙作成のほか、会場内の見学などを行い、町長が参加する会議にタスキが合ったため、見学することができました。

今回の体験が、将来の職業を考える一助となれば嬉しいです。

(総務課情報グループ  
広報担当・中崎 凌)

